

## 第一節 官設私設の別

宗教的営造物中官設公設私設の別あり。官設廟祠は支那国皇帝より勅封せられたるものすなわち城隍・媽祖・開山神社等にして、街巷庄等にて人民協議のうえ建設せしものは公設にして、祖先を奉祀するために建設せる家廟のごときはこれを私設廟祠という。

## 第二節 宗教的造物の名称

### (一) 宮

宮とは皇帝の常住するところをいう。ゆえに神は皇帝より上位なればとて下位になることなしとの意にて神の居るところを宮と称す。しかれども台湾においては宮に仏像を奉祀し寺に神妙を祭る等、ほとんど神仏混祀の状態なれば、しいてこれを区別するあたわず。

### (二) 廟

廟は柱蓋あつて隔壁なき大廈を廟と称す。台湾においては廟に神像または仏像あるいは神仙を奉祀せり。

### (三) 祠

祠は廟の小なるものをいうといえども、台南開山神社の祠および府口街洪公祠のごときその構造において少しも廟と異なるところなし。もって台湾人が指称する廟または祠の名称は区別なく混称しあるを觀るべし。

### (四) 殿

殿は皇帝の朝を見るところをいう。しかるに土人台南岳帝神を祀れるところを岳帝廟という。しかれども廟前の扁額は東岳殿なり。また海安宮街広沢尊王の廟は狭小なる廟にかかわらず西羅殿と称し、また万寿宮を皇帝殿と指称するを觀れば、これまた混称せられあるものなるべし。

### (五) 家廟

家廟は一家一宗の祖先を祭る屋宇をいう。嘉義王氏廟・新竹の鄭氏廟・台南の梁氏廟等すなわちこれなり。

### (六) 壇

壇は土を高く築き祭場を造りしに出ず。嘉義の社稷壇・神祇壇・先農壇等これなり。しかるに台南上横町の天公壇は土人呼んで廟といい壇といわず。また道士のいる普通の平屋の門頭に道士壇あるいは何々壇と書す。また台南南門外の南壇は昔無縁の靈魂を祭りしところにして大衆廟また有応公となんら選ぶところなし。またもって廟および壇を混称せるものなるを知る。

### (七) 寺

寺は内地の寺と同じく仏像および閻魔等の像を奉祀せり。しかるに台南開元寺および清水寺等にはある神像をも併祀し、また台南清水寺・重慶寺およびその名称寺なるも僧侶おらず。かえって水仙宮廟・岳帝廟等の神廟に僧侶の居住するは奇觀なり。もって台湾寺廟混交・神仏混交の様、推して知るを得べし。

### (八) 堂

堂は食齋教信徒が仏像を奉祀し置くところにして、台南の徳善堂、嘉義の大和堂、斗六の真一堂等これなり。

(九) 庵

庵は齋教信徒の婦人すなわち尼姑のいるところにして仏像を奉祀し朝夕礼拝するところをいう。台中の尼姑庵および新竹の鄭家の尼姑庵すなわちこれなり。しかるに台南西来庵および萬福庵等は神像を祀り尼姑おらず。これによりてこれを見る時は庵なる名称もまた混用し居るものなるを知るべし。

(一〇) 觀

觀は元（もと）道教の神仙を奉祀せしところにして女道士すなわち女冠の住するところなり。

(一一) 巖

巖は山寺の称、台南六甲支庁下の赤山巖、台北の芝山巖等これなり。